



Kobe City University of Foreign Studies

神戸市外国語大学 魅力発信事業2025

絵をことばに、 ことばを絵に

2025

10.10 金

14:25~15:55

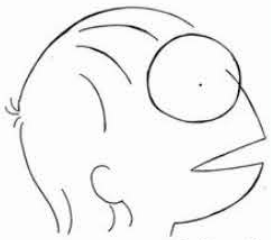
絵とことばは昔から「姉妹」と呼ばれます。

絵がことばにどんなインスピレーションを与えるか、
ことばが絵にどんなインスピレーションを与えるか、
そこに言語間の翻訳が加わることで、どのように味わ
いが増すか、日英両語での創作・翻訳の現場におられ
る二人の先生に存分に語っていただきます。



©Satoshi Kitamura

柴田 元幸 × きたむら さとし 講演会



© 鳥袋里美

翻訳家、米文学者、前神戸市外国語大学
客員教授、東京大学名誉教授。ポール・
オースターなど現代アメリカ文学を中心
に翻訳多数。1992年『生半可な學者』
で講談社エッセイ賞、2005年『アメリ
カン・ナルシス』でサントリー学芸賞、
2010年トマス・ピンチン著『メイス
ン&ディクソン』（新潮社）で日本翻訳文

化賞、2017年早稲田大学坪内逍遙大賞を受賞。

翻訳に、マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒けん』
（研究社）、『トム・ソーヤーの冒険』（新潮文庫）、ジョセフ・コン
ラッド『ロード・ジム』（河出文庫）、エリック・マコーマック『雲』
（東京創元社）、ステイーヴン・ミルハウザー『ホーム・ラン』（白
水社）など。翻訳については、村上春樹との共著『本当の翻訳の話を
しよう』（新潮文庫）、『翻訳教室』（朝日文庫）等。近刊に『イーデ
ィス・ウォートン怪談集』（葉々社）、トマス・ハーディ『ロングバ
ドル人間模様』（葉々社）、ポール・オースター『4321』（新潮
社）、編訳『アメリカン・マスターピース 戦後篇』（スイッチ・パ
ブリッシング）、バリー・ユアグロー『松明のあかり 暗くなってい
く時代の寓話』（twilight）など。文芸誌『MONKEY』日本語版・
英語版責任編集。

絵本作家、翻訳者、画家、作家、
神戸市外国語大学客員教授。フ
リーランスのイラストレーター
として東京で広告・雑誌の仕
事をする。1979年に渡英。

1982年、初の絵本『Angry
Arthur』（文：Hiawyn Oram）
を刊行し、1983年度の新入絵本



イラストレーターに贈られるマザーグース賞受賞。邦題は『ぼくはお
こった』（評論社）。多数の絵本、詩集イラストまたミュージアムデ
ザインにかかわる。また、中南米を中心に、様々な国でワークショ
ップを行い、自作の紙芝居を上演。2009年に帰国。2018年より神戸に
在住。翻訳家の柴田元幸氏のエッセイや翻訳のイラストレーションを
数々手がける。『ミリーのすてきなぼうし』（BL出版）は光村図書
の小学校2年の教科書に掲載されている。その他の絵本に、『ぼくネコ
になる？』（小峰書店）『ストーンエイジ ボーイ』（BL出版）『スマ
イルショップ』（岩波書店）など。また『ことばとふたり』（文：ジョ
ン・エガード）（岩波書店）は、第70回産経児童出版文化賞の翻訳作
品賞を受賞した。近刊に『こいぬのがっこう』（岩波書店）、『ぼくが
ここに』（文：まど・みちお、理論社）など。柴田元幸責任編集の英
語版文芸誌MONKEYでは毎回自作のGraphic Storyを担当。



柴田元幸 近著



共著

きたむらさとし 近著

場 所 神戸市西区学園東町9丁目1 神戸市外国語大学（第2学舎2階504教室）

予 約 学外の方のみ右記2次元バーコードより要申込（先着50人）

参加費 無料

企 画 神戸市外国語大学 英米学科

問合先 神戸市外国語大学 研究所グループ Mail:kouen@office.kobe-cufs.ac.jp

